



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

**【対象となる方】**

2012/12/7～2020/2/29にご同意いただいた方

**【研究課題名】** アミロイド関連疾患における凝集機序の解明とその早期診断法および治療法の開発

**【研究責任者】** 望月 秀樹（大阪大学 医学部神経学講座）

**【本研究の目的及び意義】**

パーキンソン病、レビー小体型認知症、レム睡眠行動異常症、多系統萎縮症、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症といった多くの神経難病において、患者の中枢神経系にアミロイド線維の沈着が見られることがわかっている。また、II型糖尿病や透析アミロイドーシスなど中枢神経系以外の臓器に沈着が見られる疾患も存在する。このような疾患はいわゆる難病であり、根本治療が存在しないというのが現状であったが、最近になって、パーキンソン病、アルツハイマー病やアミロイドーシスでは凝集抑制治療が試みられており、これまでの研究からアミロイド線維の沈着と病状の進行に相関があることがわかってきていることから、症状の出現する前に早期診断して、凝集抑制治療を開始することが重要と考えられる。本研究では、強制的にアミロイド線維を誘導する最新のシステムを利用して、神経難病を中心にアミロイド関連疾患における凝集機序の解明とその早期診断法および治療法の開発を目指す。

**【本研究に提供している試料・情報】**

血液、髄液

**【問い合わせ窓口】**

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)